

# 八重山歴史略年表

西 暦	事 項
紀元前 約2000年	下田原式土器作られる。その後、無土器時代へ移行。
12世紀頃	無土器時代からグスク時代へ移行。
1390年	宮古・八重山、はじめて中山（沖縄）に入貢。
1477年	朝鮮漂流民、与那国島で救助される。与那国・西表・波照間・新城・黒島をはじめ宮古・沖縄の見聞記（李朝実録）残す。
1500年	オヤケ・アカハチの乱起こる。首里王府、3000人余を出兵して鎮圧。宮古・八重山に頭職を置く。
1502年	大阿母職と永良比金職を置く。
1524年	西塘、武富大首里大屋子職を拜命、八重山を統治。竹富島に戴元設置、後に石垣島へ移転。
1609年	島津氏、琉球へ侵攻。
1611年	大和役人が検地を実施。
1614年	桃林寺・権現堂が建立される。
1628年	行政区を3間切（石垣・大浜・宮良）に分け、それぞれに頭職を置く。
1632年	在番制度創設。
1635年	石垣永将、キリシタン弾圧で火刑に処せられる。
1641年	大和在番創設、異国船の監視・警備にあたる。
1648年	波照間の百姓男女40～50人が「大波照間」（南波照間）という南の島へ逃散。
1695年	中国へ漂着の波照間高康が甘藷を伝える。瓦工を沖縄から招き、名蔵窯で瓦製造始まる。
1699年	製紙方法が沖縄より伝わる。
1700年	黒島保里村百姓60人が鳩間島へ移住。
1711年	仲間村（西表島）へ竹富島・新城島から、平久保村（石垣島）へ黒島から寄百姓が行われる。以降、寄百姓での村建等が度々行われるようになる。
1724年	陶工仲間渠致元来島、陶器製法を指導。
1729年	宮古・八重山の士族に家譜編集許可される。
1771年	大津波襲来、八重山の人口約1/3（9300人余）が遭難。その後も疫病・飢饉で犠牲者続出。
1852年	崎枝沖にアメリカ船口パートバウン号が中国人苦力を乗せて漂着。
1872年	日本政府が琉球藩設置。
1873年	首里王府最後の検使・富川親方一行派遣。翌年「富川親方規模帳」など発布。
1879年	琉球藩を廃して沖縄県を置く。
1880年	日本政府が、宮古・八重山の割譲を清国に約すが、立ち消えとなる。
1903年	宮古・八重山に地租条例施行、人頭税廃止される。



## 観覧時間

午前9時～午後5時

## 休 館 日

毎週月曜日、祝祭日、月曜日が祝祭日の場合は、翌日まで、12月29日～1月3日、燻蒸及び展示替の日。

## 入 館 料

●大人 200円 ●学生(中学生以上)100円  
※小学生以下は無料。20名以上の団体見学は2割引。



所在地: 〒907-0004 沖縄県石垣市字登野城4-1  
電 話 (0980) 82-4712(FAX兼用)

# あんない

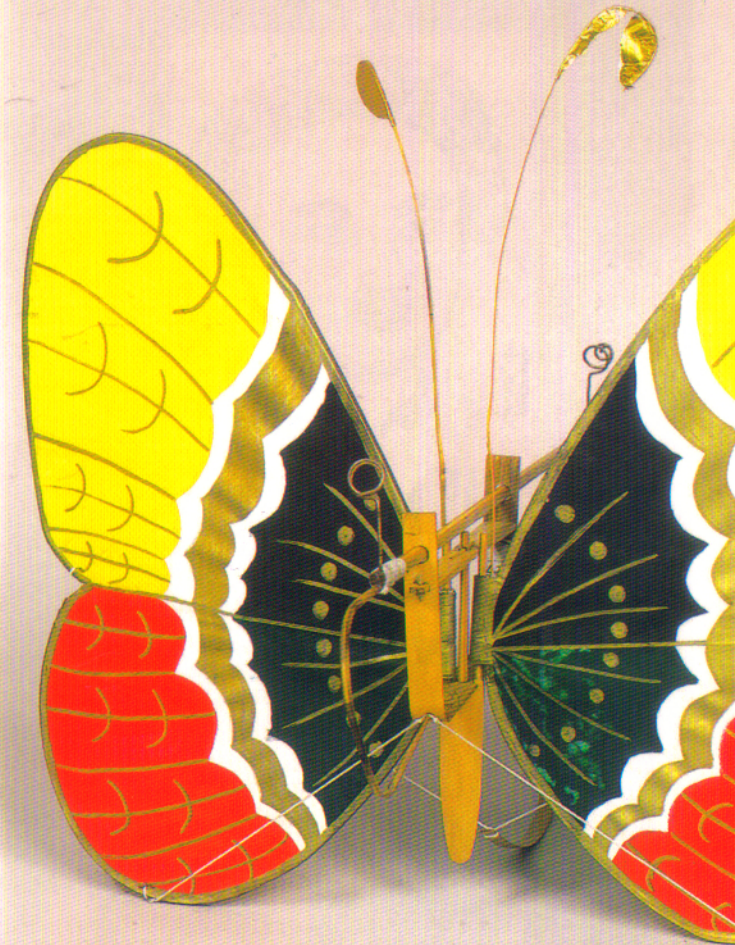


Photo : シャクシメー

石垣市立 八重山博物館

# 考古・歴史



パナリ焼



蔵元絵師の画稿（異人の図）



唐人墓碑

瓦 證 文

# 美術・工芸



漆 器

陶 器（八重山焼）



蔵元絵師の画稿（布晒の図）



染 織

八重山上布

スディナ

# 民 俗



サバニ・漂着船



蔵元絵師の画稿（風俗図）



民 具